

8. カリキュラム

【令和7年10月30日(木)】

時間	内 容	講 師
10:30~10:35	開講挨拶	(公社)日本港湾協会 理事長 大脇 崇
10:40~11:50 (70分)	「港湾ロジスティクスの課題と取り組みの変遷」 港湾政策にサプライチェーンやロジスティクスへの対応が配慮されるようになり20年を経過した。この間の課題や取り組みの変遷、今後の展望について考察する。	国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾計画研究室長 安部 智久 氏
13:10~14:20 (70分) 14:30~15:40 (70分) 15:50~16:50 (60分)	「港湾の経営とロジスティクス戦略」 サプライチェーン時代の港湾、世界の港湾ロジスティクス戦略の実態、日本の成長戦略と港湾の役割、日本の港湾経営とロジスティクス戦略など 〈課題討議〉	前政策研究大学院大学 客員教授 井上 聡史 氏
17:00~18:30	意見交換会	

【令和7年10月31日(金)】

時間	内 容	講 師
9:30~10:40 (70分)	「長距離フェリー・RORO 船による国内物流と物流関連2法等の改正」 長距離フェリー・RORO 航路の現状、トラックドライバーの”2024 年問題”と現状、海運へのモーダルシフトの意義、物流関連 2 法・下請法等の改正、フェリー・RORO 航路の課題・展望など	流通経済大学 客員講師 加藤 博敏 氏
10:50~12:00 (70分)	「日本の港湾政策と港湾運送事業」 国際コンテナ戦略港湾政策及び港湾運送事業の現状や課題、今後の展望について	国土交通省港湾局 港湾経済課長 末満 章悟 氏
13:10~14:20 (70分) 14:30~15:50 (80分)	「現代物流の動向」 1. 世界の物流動向 米国関税政策、米中関係の物流への影響(グローバルゼーションの終焉、サプライチェーン再構築)、紛争の物流への影響(イスラエル・ガザ/ロシア・ウクライナ) 2. 物流分野における国際標準化の動向(国際標準化競争の時代へ) 3. 物流 2024 年問題のその後の展開 物流関連 2 法案のその後、モーダルシフト、共同物流・フィジカルインターネット 4. 港湾運営とマーケティング 5. 港湾と環境 脱炭素化の動向(海運・港湾)、CNP 認証制度	流通科学大学 名誉教授 森 隆行 氏
15:55~16:00	閉講	

※本講座は土木学会継続教育(CPD)プログラムの認定申請予定です。

(土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は、提出先団体に事前にご確認ください。)

講師、講義内容については変更が生じる場合があります。